

2010年1月吉日

国連UNHCR協会 事務局長就任のご挨拶

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素はUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の難民援助活動に、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、このたび1月1日付をもちまして、国連UNHCR協会の事務局長に就任いたしました。これまでの10年間、UNHCR職員として難民支援の現場で働いてきました。アフリカのケニア、ウガンダ、スーダン、中東のアフガニスタン、イラン、そしてアジアでは、タイ、ミャンマー、カンボジア、東ティモール、それぞれが思い出深い現場です。

皆様もご存知のとおり、難民の人々のおかれている状況は、非常に厳しいものです。最初の赴任地のスーダンでは、日常生活に必要な物資すら満足に配給できない現実に、驚きとショックを隠せませんでした。しかし、そのようななかでも、難民の人々は、毎日を必死に生きています。彼らと共に働き実感したことは、彼らがたまたま難民という立場にあるだけで、難民も私も、まったく変わらない、同じ人間だということでした。

職員となった最初の頃は、難民の人々に寄り添い、日常を支えていくことに邁進していました。次第に、援助活動の体制を整える仕事を担うようになると共に、UNHCRが難民のために活動することを可能にしているのは、皆様からのご支援のおかげだということを、身にしみて実感するようになりました。支援現場から遠く離れた日本から寄せられる、皆様の善意により、私たちは支えられてきたのです。

これから国連UNHCR協会の事務局長の務めを果たしていくにあたり、まずは皆様に、今までの温かいご支援に対する感謝を申し上げたいと思っております。皆様に直接お目にかかり、感謝の意を伝えられる日を楽しみにしています。そして、私が難民支援の現場で、見て、感じてきたことを、共有させていただければと思います。

今後はこの日本にて、難民のために、一層努力する所存です。

どうか、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。



敬具
特定非営利活動法人 国連UNHCR協会
事務局長 高嶋 由美子

高嶋 由美子

プロフィール

イギリス、エセックス大学政治学科卒業。学習院大学大学院在学中、1999年にジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（外務省からの国連機関への派遣制度）として派遣され、2002年よりUNHCR職員に。2008年、宮沢賢治学会イーハトーブセンターによる「イーハトーブ賞」、2009年日本青年会議所による「人間力大賞—NHK賞」を受賞。